



2020年6月  
第73号

☎ 111-0052  
東京都台東区柳橋2-22-3  
ウェスレアン・ホーリネス  
神学院  
☎ 03-3851-3762  
FAX 03-3851-3858  
振替口座番号  
00130-4-364534  
名義 ウェスレアン・ホーリネス神学院  
発行人 山崎 忍  
編集人 文カンホ、後藤貴子  
印刷所 ヨベル

キリスト・イエスにおいて神が  
あなたがたに望んでおられることは

学院長 山崎 忍



敬愛する皆様、いつも神学院の  
ためのお祈りとお支えを心から  
感謝いたします。

2020年度は、新型コロナ  
ウィルス感染拡大による緊急事  
態宣言が出される中でのスター  
トとなりました。

大部分の授業をインターネッ  
トを通して行っております。4人  
の神学生は、神学院の寮で生活を  
続け、4年生の柳神学生は実家の  
山形、新入生の松本麻椰神学生は  
淀橋教会に留まり、ネットで授業  
に参加しています。

この神学院便りが皆様のお手  
元に届けられる頃には、6名の学

生と一緒に授業を受けることが  
できていることをお祈りしてい  
ます。

以下、神学院入学式のメッセー  
ジで語った内容を基に巻頭言と  
させていただきます。

今、全世界のキリストの体なる  
教会の多くが会堂に集まって礼  
拝をささげることができない状  
態にあります。これは確かに緊急  
事態であります。しかし、この世  
界は、神にかたどって造られた最  
初の人、アダムとエバが罪に墮落  
した後、罪の感染が、あつという  
間に世界を覆い尽したときから  
緊急事態でした。

全能の父なる神様は、緊急事態に

あるこの世を憐れまれ、大切な独  
り子、御子イエスをこの世にお  
遣わしになり、御子の尊い命に  
よって全人類の罪の代価が支払  
われ、御子を信じ、神と和解した  
すべての者の罪を赦し、神の子と  
し、御自身が住まわれる聖霊の宮  
としてくださいました。それは、  
わたしたちの内に、またわたした  
ちを通して、聖なる神の愛が満ち  
るためです。そして、対立し憎し  
み合う者が和解し、キリストの愛  
によって一つ、ワンチームとされ  
るためでした。

そしてワンチームであるキリ  
ストの体なる教会に神が望んで  
おられる大切なことが、テサロニ  
ケの信徒への手紙一、5章16、17、  
18節に記されています。

「いつも喜んでいなさい。絶え  
ず祈りなさい。どんなことにも感

謝しなさい。これこそ、キリスト・  
イエスにおいて、神があなたがた  
に望んでおられることです。」

喜ぶ、祈る、感謝するという3  
つの動詞は、すべて二人称複数形  
です。つまり、一緒に喜んで、祈っ  
て、感謝することこそ神が望んで  
おられることです。

神学院での訓練とは、心と生活  
のすべての面が聖められ、キリス  
トの似姿に変えられ、福音宣教師  
として整えられるためのもので  
す。そして、それは、主にあって  
一緒に喜び、祈り、感謝する者に  
変えられていくための訓練です。

いつも喜んでいなさい

主イエス様が、こんな罪深い者  
を救ってください、神の子として  
くださったことを常に喜び、主イ  
エス様の内にあること、主イエス  
様というも共にあることを喜ぶ  
ことができます。けれども、主イ  
エス様と共にあって喜ぶという  
ことは、苦難をも喜ぶことです。  
主イエス様は、わたしたちを救  
うために喜んで苦難を通られま  
した。パウロは、フィリピの信徒  
への手紙で、繰り返し主にあって

喜びなさいと述べています。彼は福音宣教のために牢につながれていましたが、主にあつては、苦しむことも恵みでした。パウロは、主がこんな私、罪人の頭なる私を救ってください、キリストの心を心とし、主の苦しみの欠けた所を少しでも補うことができる者とされたことを喜んでいきます。

神学院で最初に訓練されることは服従です。最初は臍に落ちない、強いられると思うことがあるかもしれませんが、喜んで従う者に変えられるための訓練です。

### 絶えず祈りなさい

そして、その訓練を全うするために絶えず祈りなさいと勧められています。愛する教師、仲間、の慰めも助けにはなりません。けれども、献身者は主と深く交わり、主に慰められ、愛に満たしていただかなければ、神の器として愛を十分に分かち合い、一緒に祈り合うことはできません。時に、主の御前で自分の弱さをさらけ出し、主に取り扱っていただくのです。そうでなければ、気落ちしている

者を励まし、弱い者を助けることはできません。

E・M・バウンズ先生は、著書『祈りの力』の中で祈りについて次のように述べています。

① 祈りの時間の短さは、墮落の第一の理由である

② 主イエス様は、わたしたちにすべてを与えてくださり救ってくださいました。その主と共にわずかな時間しか過ごさないのは、神のためにわずかしか与えないことです。

③ 神と共に過ごす時間は、わたしたちの生活を豊かなものとし

ます。

④ 短い祈りは、何の実りもたらしません。

どんなことにも感謝しなさい  
今、世界中で新型コロナウイルス感染症拡大の中、多くの教会が、会堂に集まったの礼拝、祈禱会を自粛しています。しかし、その中で多くの教会がユーチューブ等で礼拝動画を配信するようになり、礼拝に普段来られない人、キリスト教に関心があるが、勇気がなくてなかなか足を運べない方

が、その動画を見て福音を聞いています。

先日、神学生が未信者の友人から、在宅で暇だと連絡を受けたこと。神学生たちの賛美動画を送ると「ありがとう。元気が出た」と返事が戻ってきたとのこと。

一日の早い感染終息を祈って

いますが、今を感謝し、福音を信じ続けるとき、わたしたちは主の驚くべき御業を見ることができ

ます。  
だから、キリストの体として、ワンチームとして、一緒にいつも喜び、絶えず祈り、どんなことにも感謝しましょう。



第32回ウェスレアン・ホーリネス神学院 入学式(2020年)

## ◆新入生の証◆

「神学院に入学して」

1年 松本麻椰



今年度  
入学しま  
した、松本  
麻椰です。  
淀橋教会

寮に住まわせていただきながら  
平日は神学院で授業、週末は淀橋  
教会でご奉仕となる予定でした  
が、感染拡大防止のため授業をオ  
ンラインで受け、私自身は常に淀  
橋教会に身を置いています。この  
ような予想外の学びのスタート  
となりましたが、教会に留められ  
る中で主は特別な恵みを注いで  
くださっていることを感じてい  
ます。

まず、オンライン授業での恵み  
です。直接先生からの授業は受け  
られませんが、SkypeやZoomな  
どのインターネットのツールを  
用いて先生はご自宅に、私は教会  
に、という環境でもつながって、

先生と離れた場所にいなながらも  
授業を受けることができ、お  
り、とても感謝です。授業によって、  
聖書についてや教会について  
日々新しいこと、知らなかったこ  
とに気づかされています。

そして、教会から配信を行う恵  
みです。淀橋教会での聖日のご奉  
仕は礼拝の配信がメインになっ  
ています。その中でも、AF (Age  
Family) 淀橋教会日曜学校) では  
Zoomを使った礼拝配信を行って  
おり、私は準備や司会を担当させ  
ていただいています。多くの教会  
員の方々が教会で礼拝をささげ  
たいという強い思いを持ちなが  
らも自宅に留まっておられる状  
況の中、みなさんが心を一つに礼  
拝をささげるため配信を行うこ  
とはとても重要なものと感じて  
います。そしてオンラインでの礼  
拝・集会には多くの恵みもありま  
す。長く教会に来られなかった人  
や、この4月から新しい進路のた  
めに遠い場所に離れてしまった  
人も礼拝に参加することができ  
ること、日常生活の中で人との交  
流が減っているため礼拝や集会  
で顔を合わせる時間がとても楽

しみになる、ということなど  
です。礼拝配信の他にも、集会がな  
くても会堂の清掃や手入れ、発送  
作業などをすることは必要です。  
また、礼拝で集まれないこの時  
こそ、繋がりを保ち続けるために個  
人的な連絡や分かち合い、祈り合  
いということが不可欠になって  
きています。授業後の時間や合間  
の時間にそういったご奉仕を  
行っていますが、教会に集える人  
が少ない中で、今年の神学院入学  
と同時に教会献身に導かれたか  
らこそ用いられていることを覚  
え、奉仕をさせていただける恵み  
に感謝しています。

最後に、日々神様とともに歩む  
恵みです。教会内の全ての集会に  
出席が許され、毎回力強い神様か  
らのメッセージを受けています。  
授業でいつも真理が語られ、前後  
には先生方との祈りで励ましを  
受けています。生活の間には聖  
書を開くことができ、今まで仕事  
や奉仕が忙しいと理由をつけて、  
聖書の御言葉に聞く時間をおろ  
そかにしていたところを全く変  
えていただきました。主は、御言  
葉を求める者に答えてくださり、

何もかも足りなく、土の器である  
私のことも整えようとしてくだ  
さっていることを感謝します。仕  
える中で、自分が考えることが正  
しいと思ってしまう心、謙遜にな  
れない心に直面していますが、  
ローマ5・20「罪が増したところ  
には、恵みはなおいっそう満ちあ  
ふれました。」このように、恵み  
が満ちあふれると約束してくだ  
さっているゆえに、まだまだ変え  
られるべきところの多い私です  
が、主に信頼して進んでいきます。

## ◆在校生の証◆

「静まって神様を知る」

2年 黒木真菜



神様の  
憐れみと  
皆様のお  
支えを、心  
から感謝

致します。この1年は、静まって  
神様の御前に出ること、御声に聞  
き、より深く神様と交わること  
を、大切にしたいと思います。1

「新年度を迎えて」

3年 岡 聖志



いつも私たち神学生のために、お祈りとお支

年間神学院で学び、生活してきた中で、何と自分の心は聞くよりも先に主張することが多いのか、愛されませんでした。傍で語っている人の話、聖書の御言葉、そこに自分の心を注ぐことができずに、自分の思いに捕らわれていることに気付いて、我に返る、その繰り返しです。自分に向いている関心を神様に、隣人へと方向転換していただけるように、日々神様に祈り求めます。神学院での1年目を振り返ると、目の前のことに必死になることも多く、神様の御心から自分の心が逸れてはいないか、何のために学んでいるのか、度々立ち止まる必要がありました。また、自分が置かれている環境、与えられている全ての人間関係において、今この時、神様のために私にできることは何か、と考えさせられています。

何かあったとしても守り導いてくださり、どのような私でも愛し受け止め、用いてくださる神様に信頼し、その信頼をさらに堅くさせていたいただきたいと願います。

えをありがとうございます。一昨年の春に神学院へと導かれ、無事3年目を迎えることができました。2年間の淀橋教会での派遣を終え、今年度は浅草橋教会に派遣されることが決まり、とても楽しみにしていました。

しかし、待ちわびていた派遣は、思わぬ形でスタートすることとなりました。冬の時点では、新年度からは皆で集まって礼拝できるのではないかと楽観的に考えていました。しかしその予想は大きく覆され、これを書いている今も教会での礼拝ができない状態にあります。神様のご計画は何か、その御心はどこにあるのか、すべてを悟ることはできません。しかし私たちが知っているこ

とは、このような中でも神様は確かに生きて働いておられ、痛み苦しむ私たちと共にいてくださることです。

「彼らが苦しむときはいつでも、主も苦しまれた。／御前に仕える御使いによつて彼らを救い／その愛と憐れみによつて彼らを贖い／昔からずっと彼らを負い、担ってくださった。」(イザヤ63・9 聖書協会共同訳)

「神を愛する者たち、つまり、ご計画に従って召された者のためには、万事が共に働いて益となるということを、私たちは知っています。」(ローマ8・28 聖書協会共同訳)

このような時ですが、だからこそできることもまた多くあると思わされています。今私にできる小さなことを、一つひとつ精一杯おさげしていきたいと思えます。

「新年度を迎えて」

3年 船津悠大

いつもお祈りありがとうございます。



新型コロナウイルス、世界中が大変

な状況です。今年度から淀橋教会派遣になりましたが、状況がおさまるまで、浅草橋教会での奉仕になりました。多くの教会は、集まって礼拝を持つことができません。礼拝がキリスト者にとつて、とても大切で必要であることを改めて痛感しています。

世界規模の災害の中、神のうちに創造された人間が「独りでいるのは良くない」ことを思っています。神は人間を他者と共に生きる存在として創られました。自分が大変な状況の時、普通は自分のことで精一杯です。しかし、こういう時こそ、「自分を無にして僕の形を」とってくださったイエスのように、自分の満足ではなく他者に目を向けてみます。友人に手紙を書き、電話をかけ、励まし、共にデポーションしてみる。イライラする時も、優しい言葉をかけてみる。他者に何

かをするのは、時間、お金の体力を使い、損しているように思うかもしれません。しかし、他者と共に生きるように創られた私たちは、他者のために自分を使うときこそ、最も満たされることを最近体感しています。偉そうに書きましたが、私自身には他者を愛する愛はありません。自己中心な存在です。しかし、主の愛が私を変えます。主に希望を置いてこの1年も頑張ります。

「この時に生かされて」

4年 桑原晴美



いつも  
神学生の  
ための尊  
いお祈り  
とお捧げ

ものを心から感謝致します。

ここまで守られ、後1年で卒業だ、と心軽く思っていた矢先、コロナの影響で今まで経験したことのない事態となりました。世界中が同じ痛みと苦しみを経験し

ています。神様の御心は何なのか日々祈り求めてきました。十字架に架かってまで私たちの命を救ってくださいましたお方が、私たちが傷つき滅んで行くことを願われるはずはありません。今この時、神様は、世界中が一つとなる事、先ず先に救われたクリスチャンが目覚まして、教団教派を越えて共に心を合わせて、苦しみ痛みの中にある人達のために祈りを捧げ、福音を伝え、愛を実践して行く事を願っておられるのではないのでしょうか。制限を加えられれば加えられるほど、私たちは交わりを求め、オンラインや手紙、電話を通じて繋がり、祈り合っている。励まし合い、必要なものを送り合っています。世界中が今この痛みのために心を一つにして祈りを捧げている事を思う時、一人一人が、今この時代に尊く立てられているのだと思わされます。痛み傷ついている世界中の人々が癒され、神様の御名を褒めたたえるようになる事を祈ります。

「最後の1年」

4年 柳 泰鉉



ウエス  
レアン・  
ホーリネ  
ス神学院  
に入学し

て、もう4年生になりました。ここまで導かれ、守られたことを主に感謝いたします。

3年間の生活を思い出してみると、忙しかった記憶が多いです。特に、去年はキャプテンとして、また、食事当番に関しては学生の間で「料理長」と呼ばれ、忙しい日々を過ごしました。しかし、私にとって貴重な体験で、神学生たちと仲良く生活することができ、とても楽しかったです。

3年生の学びが終わってから、私は韓国に行つて来ました。新型コロナウイルスのことで神学院にすぐ戻ることができず、山形にある実家で2週間隔離された生活をしました。その後、神学院の授業がオンライン授業となり、今も家で授業を受けています。先生

方や神学生たち、また派遣教会の皆さんと会うことができなくなりました。寂しさを感じていますが、今の状況も主が解決してくださると信じています。これからは4年生として、卒業の準備や皆さんの課題に対する思い、また自分が本当に伝道者になれるのか、などの心配もたくさんありますが、主が導いてくださるといふ信仰を持って歩み、進んで行きたいと思っています。

世界中が本当に厳しい、悲しい、大変な状況になっていきますが、皆さんが守られ、祝福され、いつかまた会えることを期待しています。



◆神学院オリエンテーション◆

神学院のオリエンテーション

に関する報告

教務主任 本間尊広



2020年度は、新型コロナウイルス

感染症拡大

大防止のための緊急事態宣言発令を目前としている中で始まり前に2泊3日で行っていたオリエンテーションも中止せざるを得ませんでした。このオリエンテーションは、きよめのテキストとなる霊的書物の学び、1年間の学校生活のガイダンス、交わりの時間を通して、学生と教師が共に過ごす大切な行事です。今年も、通常の形では行えず、4月3日の入学式の午後に、神学院で、院長、教務主任、事務長と学生のみによる短いガイダンスとして行いました。神学生としての心得

や、授業・寮生活についての説明、学費や事務手続きについての説明に限定して行いました。

年度初めから、授業も一部の直接講義、課題による自習授業を除

きほとんどオンラインで行なっています。いつ通常の形に戻していけるのかまだ見えませんが、それぞれの先生方が対応してくだ

さつて、授業を実施できていることは大変感謝なことです。オンラインツールを活用する道が強制的に開かれたような状況ですが、

本来の学生教師間の交わりが薄くなることは否めず、早い感染症拡大の収束を祈ります。

◆献金のお願い◆

献金をお願いします。

神学院では、毎年年会時における予約献金、神学院デー献金、また個人、団体献金に支えられ運営

を続けておりますが、近年、学生数の減少や、寮の老朽した備品の交換等もあり、毎年、蓄えを切り崩している状態が続いております。

教団の将来の伝道者育成機関である神学院運営のために、更

に祈り、お献げいただければ感謝です。

◆編集後記◆

神学院のためにお祈りとお支えを心から感謝します。今年も卒業者がなく、終業式を執り行いました。特に今年はC19の影響によ

り、少数の教師と生徒が終業式にあずかり、1年間の恵みを感じました。4月には1名の新入生が

与えられ、感謝をもって新年度が始まりました。神学院が始まるにあたって4月7日に発表された

緊急事態宣言により、神学院も自粛と共に教師の移動と学生の移動を慎むようにし、多数の授業

を、スカイプ、ZOOMなどで行っています。実際顔を合わせて行う

授業が何よりも良いですが、画面に顔を大きく映して行う授業も

また、親しみが味わえると聞いています。主の癒しと憐れみがこの世を覆い包んで一日も早くすべてが回復されるように祈る次第

であります。皆様も心を合わせてお祈りくだされば幸いです。よろしくお願ひいたします。

今回の神学院便り第73号では、学院長の山崎忍先生の巻頭言、新入生、松本麻椰神学生の証し、在校生からの新年度に向けての抱負、教務主任の本間尊広先生のオリエンテーション報告、そして、献金者一覧を掲載させていただきました。

神学生は、前期授業終了、試験の後、7月の関東夏期聖会より、夏期伝道期間に入ります。C19の影響によって聖会および夏期伝道は、変更になることもありま

す。それぞれ霊性、健康が守られ、成長される時を過ごすように、また、派遣される諸教会に主

の豊かな祝福がありますようにお祈りください。この神学院だよりを読んでいるすべての兄弟姉妹の上に真の平安がありますようにお祈りいたします。





# ウェスレアン・ホーリネス神学院 入試要綱

## 受験資格

- 大学・短大卒業もしくはそれと同等の学力を有すると認められた者
- プロテスタント教会に所属し、受洗後2年以上の者
- 専心宣教教会の業に仕える明確な召命感をもち、このために献身し、牧師の推薦を受けている者

## 受験手続き

以下の書類を整え、本学院事務所に郵送または持参してください。なお神学院所定の用紙はホームページにもありますので取り寄せてください（①～⑤は学院所定）

- ①入学願書 ②履歴書 ③信仰歴 ④所属教会牧師の推薦状 ⑤召命に関する短文（400字×3枚程度） ⑥最終学校卒業証明書 ⑦同成績証明書 ⑧健康診断書

### 1. 入学試験日

- 第1回 2020年 11月 24日（火） 試験科目：聖書、英語、ホーリネス  
 第2回 2021年 2月 9日（火） 試験科目：聖書、英語、ホーリネス  
 第3回 2021年 3月 9日（火） 試験科目：聖書、英語、ホーリネス

### 2. 願書提出締切

試験日の2週間前までに提出して下さい。

### 3. 受験料2万円

願書と一緒に支払い下さい。

### 4. 全寮制

本学院は全寮制です。特別の事由のある場合には、通学もできます。寮から本学院までの交通費は通学事由が適当と認められた場合には援助します。また授業のある日の昼食は後援会等が援助しています。

### 5. 給費制・貸与制度

授業料、寮費、食費等の給付を受けることができます。事情に具して願い出て承認を受けた者は、授業料、寮費、食費についてそれぞれの必要に応じて貸与を受けることができます。

### 6. 学費・寮費

入学金	50,000円	授業料 年額	230,000円
寮費 月額	5,000円	食費 月額	15,000円

- 上記の外に研修費・教材費があります。
- ※寮費・食費はその時の事情で変動することがあります。

ウェスレアン・ホーリネス神学院

連絡先：〒111-0052 東京都台東区柳橋2-22-3 TEL 03(3851)3762

ホームページ <https://whseminary.jimdo.com/>